

ナンバリング	B②12	科目名	保育者論Ⅱ
担当形態	単独	担当教員	井上 裕美子
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		
テキスト	高橋貴志「増補版これからの保育者論 日々の実践に宿る」萌文書林		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	1 単位・講義
到達目標	・保育者に求められる専門性について理解し説明することができる。 ・保育者として自ら学び続けようとする姿勢をもつ。 ・自分自身の目指す保育者像をもち、説明することができる		
授業の概要	1 年次の保育者論Ⅰでは、保育者の役割や倫理、その制度的役割、資質等を学んだ。2 年次後期の保育者論Ⅱでは、自身の中での保育者像をより確かなものとなるよう、これまでの実習や様々な専門科目を通して学んだ事を踏まえ、時代の要請として今日求められる保育者の専門性について学ぶ。		
授業計画	第 1 回 保育者の専門性と「子育て支援」 第 2 回 保育者の資質と今日求められる専門性 第 3 回 振り返りの専門家としての保育者一記録を問い直す 第 4 回 保育の質の向上のために一保育の評価 第 5 回 保育における職員間の連携・協働 第 6 回 保育における専門機関および地域との連携・協働 第 7 回 保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義 第 8 回 まとめ一目指す保育者像を考える		
準備学習と必要時間	・授業内で提示された課題について調査・検討してくること。(30 分以上) ・授業後に授業内で学んだことを整理し、まとめること。(30 分以上)		
評価方法	・授業内での取り組み(グループワーク、積極的な参加、授業内課題の取り組み) — 30% ・授業毎の小レポート — 30% ・期末レポート — 40%		
参考文献	「新・保育シリーズ 保育者論」監修中坪史典・請川滋大 学術図書出版 「保護者のシグナル 観る 聴く 応える 保育者のためのコミュニケーション・スキル」 掛札逸美・加藤絵美 ぎょうせい 「保育者が育ち、園が機能する 保育の質が高まる組織マネジメント」井上眞理子 中央法規出版株式会社		
特記事項	保育者論Ⅰの単位が修得できていない場合、保育者論Ⅱは受講できません。		

課題へのフィードバック方法	授業後に書く小レポートに対して、次の授業等で共有し解説する。 その他、授業内での発表には随時口頭でコメントをする。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育の基礎的理解に関する科目
	その他		保育士資格	必修	保育の本質・目的に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容					